

毛穴の開き・角栓(詰まり)・黒ずみ対策「ターンオーバーの低下が根本原因」

毛穴の開き(①鼻にできるタイプ②頬にできるタイプ)・角栓・黒ずみなど、毛穴トラブルの大きな原因は、ターンオーバーの亢進(早くなる)。海の森化粧品は、従来の一時的に毛穴トラブルを目立たなくさせるスキンケアとは違い、壊れた皮膚バリアを修復するバリアケアで、ターンオーバーがスムーズになる皮膚環境を整えます。時間はかかっても、毛穴トラブルを繰り返さない肌へと導きます。

①皮脂腺の多いTゾーンの開き・角栓(詰まり)・黒ずみ(特に鼻の毛穴)「20-30代に多く見られる」

毛穴の開き・角栓(詰まり)・黒ずみが気になる方の肌では、ターンオーバーという皮膚が生まれ変わるサイクルが早くなっています。ターンオーバーが早くなると、①未熟で脆い角質が量産されます。そのため、毛穴周囲の角質が薄くなり(陥没する)、毛穴がすり鉢状になることで毛穴が開いて見えるようになります②キメが粗くなることでより毛穴が目立ちます③毛穴出口(漏斗下部)の角質が厚くなることで毛穴が狭くなり、ここに剥がれ落ちた古い角質や皮脂・ほこり、化粧品の成分などが混ざって角栓(詰まり)が形成されます。この角栓が毛穴を塞ぎ、毛穴の奥から生えてくる産毛が詰まることで黒ずみが起こります。毛穴の黒ずみの原因として、一般的に皮脂の酸化が挙げられますが、産毛の詰まりが大きな原因です。ターンオーバーが早くなる原因として、過剰な皮脂分泌・日頃のスキンケアがあげられます。

「ターンオーバーが早くなる原因」

● 過剰な皮脂分泌

鼻を含むTゾーンは顔の中でも皮脂腺が多く、特に遺伝によってもともと皮脂腺が大きく数が多い方は、毛穴も大きくなっています。皮脂量が多くなると、皮脂に含まれる油滴(皮脂の原料となる油のかたまり)量が増加します。油滴には、皮膚に微弱な刺激を与えるオレイン酸(遊離脂肪酸)が含まれており、油滴の増加に伴いオレイン酸が増加すると、オレイン酸の刺激によって、徐々に毛穴出口(漏斗下部)、毛穴周囲のターンオーバーが早くなります。

● 日頃のスキンケア

洗顔剤やクレンジング、保湿化粧品、日焼け止めを使用すると、配合の合成界面活性剤やアルコールが、空気の乾燥や紫外線、菌増殖、化粧品などの様々な刺激や、水分保持、異物侵入を防ぐ皮膚バリア(皮脂膜・角質層)を壊します。継続使用によって皮膚バリアを壊し続けると、壊れた皮膚バリアを修復するために毛穴周囲のターンオーバーが早い状態が続きます。

● 従来の毛穴対策「一時的に毛穴を目立たなくさせる一方、継続使用は開き・角栓・黒ずみ悪化に」

ピーリング剤や洗顔剤(酵素洗顔)、毛穴パックなどで毛穴周囲の脆くなった古い角質や角栓を取り除く(正常な角質を取り除く場合あり)、アルコールや収斂剤で肌を引き締める、ビタミンC(誘導體)で皮脂分泌を抑制する、保湿化粧品で肌にうるおい・弾力・ハリを与えることでキメを整えるケアが中心でした。何れも、使用後は毛穴が目立ちにくくなりますが、ターンオーバーが早い状態は解消されていないため、その効果は一時的。むしろ、ほとんどの商品に配合の合成界面活性剤やアルコール、ピーリング剤が皮膚バリアを壊す(正常な角質も取り除く)ため、継続使用はよりターンオーバーを早め、毛穴の開き、角栓、黒ずみの悪化につながりやすくなります。

● 海の森化粧品「正常なターンオーバーで毛穴が目立ちにくい肌へ」

まず、含有するタンパク分解酵素が、毛穴周囲の脆くなった古い角質や角栓中の角質を取り除きます(正常な角質は取りません)。そして、含有するリノール酸が壊れた皮膚バリアを修復します。合成界面活性剤やアルコール、ピーリング剤不使用のため、皮膚バリアを壊さず外部刺激や水分保持、異物侵入を防ぐことで、ターンオーバーがスムーズに機能する環境を整えます。ターンオーバーが機能するにつれ、丈夫な角質が形成され、またキメが細くなることで、多少時間はかかっても毛穴の開き・角栓・黒ずみの軽減・解消につながります^{※1}。

※1「皮脂分泌が多い方は、悪化を遅らせるという考え方」

皮脂腺の数や大きさは、遺伝もしくは小さい頃の生活環境の影響を大きく受けるといわれています。もともと皮脂量が多い方は、刺激物質オレイン酸の量が多く、ターンオーバーが早くなりやすい(毛穴の開き・角栓・黒ずみが起こりやすい)皮膚環境になっているため、バリアケアでターンオーバーがスムーズに機能する環境を整えても、解消が難しい場合があります。この場合は、少しでも悪化を遅らせる考え方が重要です。

※毛穴トラブルが気になる方は、オリーブオイル・椿オイル・牛脂を使用した石鹸の使用を控える

石鹸は、配合の合成界面活性剤が皮膚バリアを壊すことでターンオーバーを早めるため、毛穴トラブルが気になる方は、種類を問わず石鹸の使用を控えることが大切です。特に、オリーブオイル(オリーブ石鹸)、椿オイル、牛脂にはオレイン酸が多く含まれているため、これらの石鹸を継続使用すると、オレイン酸の刺激によって、徐々に毛穴周囲のターンオーバーが早まるため、できるだけ使用を控えることが重要です。

②たるみによる毛穴の開き(40-50代以上に多く、特に頬などに見られる縦長に開く毛穴)

たるみの大きな原因は、加齢と紫外線。真皮のコラーゲン・エラスチンが、1.加齢によって減少したり2.長年にわたって浴び続けた(真皮に侵入し続けた)紫外線(UV-A)によって変性することで、肌のハリや弾力が失われたとき。また、加齢による表情筋の衰えなどが原因で起こります。そして、これによってできたたるみを悪化させるのが、日頃のスキンケアの繰り返し。洗顔剤・クレンジング剤、保湿化粧品、日焼け止めなどを使い続けると、配合の合成界面活性剤やアルコールによって皮膚バリアを壊し続けます。すると、ターンオーバーが早くなることで、①未熟で脆い角質が量産され、毛穴周囲の角質が薄くなり(陥没する)、毛穴がすり鉢状になることで毛穴が開いて見えるようになります②キメが粗くなることでより毛穴が目立ちます。

※美白化粧品を使用している方

UV-Aは表皮に存在するメラニンによって真皮への侵入を防いでいるため、美白化粧品の使用によってメラニンの生成を抑制し続けると、UV-Aが真皮に侵入し、肌のハリや弾力を支えるコラーゲン・エラスチンが減少することで、たるみ毛穴が起こりやすくなります。

● 従来のたるみ毛穴対策「一時的に毛穴を目立たなくさせる一方、継続使用はたるみの悪化に」

化粧水や保湿化粧品を用いて、主にコラーゲン・ヒアルロン酸などの保湿剤を補給することでうるおいやハリ・弾力を与えます。使用後は、毛穴が目立ちにくくなる一方、たるみ毛穴の原因(ターンオーバーが早いまま/メラニンが減少し紫外線が侵入し続けているなど)はそのままのためその効果は一時的。むしろ、継続使用はターンオーバーが早くなり、かえってたるみ毛穴の悪化につながりやすくなります。

● 海の森化粧品「乾燥解消・メラニンを適度に残す」

含有するリノール酸(天然タイプ1セラミド)が、壊れた皮膚バリアを修復することで、ターンオーバーが機能する皮膚環境を整えます。乳化剤不使用で含有する油分も微量のため、バリアを壊したり、ターンオーバーを妨げる心配はありません。多少時間はかかっても、ターンオーバーが機能するにつれ、毛穴のすり鉢状態が解消し、キメも整っていきます。また、皮膚バリアが維持されることで、紫外線(UV-B)の皮膚内部への侵入が軽減し、過剰なメラニン生成が抑えられるため、シミ対策としての美白化粧品の必要がなくなります。結果、メラニンが適度に残ることで、UV-Aの真皮への侵入を軽減し、たるみ毛穴の悪化をサポートします。